



ひばり

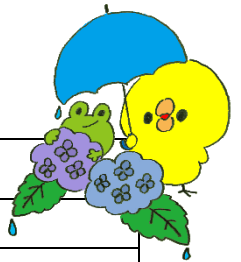
若松小学校・府中第二小学校
特別支援教室「ひばり」教室便り

令和4年6月1日 No.3
府中市立若松小学校
拠点校校長 小林 力

日に日に暑さを感じる季節になってきました。子供たちも気温や気圧の変化などで体調を崩しやすい時期になってきます。体調管理に気を付けて過ごしてほしいと思います。ひばりでも引き続き、感染症対策だけでなく、熱中症対策にも気を付けていきます。

早いもので1学期も残すところ約2ヶ月となりました。運動会を終え、本格的に新しいグループで学習を進めていく時期です。少しずつ子供たち同士のかかわり合いが増えてきていることをうれしく感じます。今後も在籍校、家庭、ひばりの三者で連携を深め、子供たちが安心して学校生活を送れるよう、指導を行ってまいります。引き続き、ご協力をよろしくお願いいたします。

○6月の学習内容



低・中学年グループ		高学年グループ	
個別学習	個に応じた課題	個別学習	個に応じた課題
小集団学習	<input checked="" type="checkbox"/> ルールの順守 <input checked="" type="checkbox"/> 「いろいろな気持ち」 ↳ 好きですか？嫌いですか？ いい気持ち・嫌な気持ち こんなときどんな気持ち？	小集団学習	<input checked="" type="checkbox"/> スピーチと質問 <input checked="" type="checkbox"/> 体幹、ブレインジム
			<input checked="" type="checkbox"/> 自己理解・他者理解

グループ学習について

低・中学年グループでは、グループごとの子供たちの実態に合わせて「気持ちを表す言葉（感情を表す言葉）」の学習を中心に行います。「気持ちを表す言葉」を知り、言葉で気持ちを表現することで、人に分かってもらえたり、気持ちを切り替えたりできるようになることをねらいとしています。

高学年グループでは、相手の気持ちについて考える学習を行います。他者の気持ちを推測して自分の振る舞い方を振り返り、適切な関わり方について考えることをねらいとしています。

○今後の予定

- ・最終指導日 月曜グループ 7月11日、火曜グループ 7月12日、水曜グループ 7月13日
木曜グループ 7月14日、金曜グループ 7月 8日
- ・個人面談 7月22日（金）、7月25日（月）、7月29日（金）
8月 1日（月）～8月 3日（水）



※面談希望日等の詳細については、別途お知らせいたします。

5月の学習の様子



低中学年グループ

5月は発達段階を追って積み重ねていく学習として、触覚や聴覚、視覚などの感覚を意識して使う体験をしました。『どんな感じ?』や『どんな音?』、『よく見よう』という学習では、感じたことや思ったことを表す言葉を知り、自分の言葉で表現することをねらいとしています。

物を触って感触を言葉で表す学習では、手に集中できるように物を袋の中に入れました。見えないので、それが何かを当てようとする児童もいましたが「それを触ると、どんな感じがする?」と、質問し直すことで、「ぷにぷにかな?」、「べたべたする。」、「これ、気持ちいい。」など、触れて感じたことを言葉にできるようになってきました。また、友達と感じ方が違うこともあると学ぶこともできました。感じたことを様々な言葉で表現する力が、自分の気持ちを言葉で相手に伝えることに繋がっていきます。

高学年グループ



「自分のことや友達のことを知ろう」（自己理解・他者理解）を1学期のテーマに学習を進めています。『サイコロトーク』では、サイコロを振り、出た目のお題で話をします。「未来に行くか、過去に行くか」、「あったらいいな、こんなもの」など、自分の考えを発表しました。「ぼく、私も一緒!」と共感的に聞く姿や、積極的に質問をしてどうしてそう思ったのかを尋ねる姿が多く見られました。グループの友達のことを知るよい機会となりました。

『私は誰でしょう?』では全員が自分についてのヒントをあらかじめ3つ書き、その情報をもとに教師がクイズを出して、一体誰のことなのかを考えました。お互いのことが少しずつ分かってくると、友達への関心もてるようになってきた子もいました。これからどのように関わり合い、成長していくかが楽しみです。



学習中のゲームについて

ひばりでは、学習のねらいに応じてゲームを取り入れることがあります。一見ただの遊びのように思われるかもしれませんが、友達との関わり方や気持ちの表し方を実際の場面を通して学ぶことで、より自身の課題に気付きやすく、適切な関わりが身に付きやすくなると考えて行っています。例えば、6月に教材として使う『ぼうずめくり』や『ジェンガ』などでは、順番を守ることや、負けてしまったときに、「まあいいか」と気持ちを切り替えたり（勝ち負けの受け入れ）、自分の気持ちを言葉で表したりする経験をします。いずれは在籍学級でも学んだことを生かせるよう、まずは小集団学習で行うゲームなどの活動の中で実際に経験を積みさせていきます。